

なかしべつ

2002

4月
No.328

農村環境フォーラムが開催され、事例発表を行いました。



農村女性だけでなく、 開かれた女性部活動に好期待。

第四十九回女性部通常総会が三月二十日、
農協大会議室で開催されました。



全員で綱領を朗唱



横田部長の挨拶



開陽地区・井上順子さんの開会宣言で始まり、出席者全員で女性部綱領を朗唱。横田純子部長の挨拶に続いて、高橋組合長、普及センター・長野所長、青年部・佐々木部長と来賓の方々から祝辞が述べられました。例年になく高出席率（総部員百三十六人に対して出席者七十一人、委任状三十一人）のもと、第二俣落地区・藤井直雄美さん、当幌地区・松田幸子さんが議長に選出され、平成十三年度事業報告並びに収支報告、平成十四年度事業・収支計画案が原案通り承認されました。また、規約改正案として、役員の任期、また、部員資格について提案され、役員任期については一年から二年に改正、部員資格については「営農従事者だけでなく、会の運営に賛同するものとする」という新しい規約が組み込まれての承認を受け、全道的に問題となっている部員減少の歯止めとなる規約に、JA職員の奥さんなどを介した農村女性だけではない開かれた女性部活動が、今後期待できそうです。

総会終了後、昼食をはさみ女性部研修会「JA職員と女性部のちよつと耳より懇談会」と称して、事前に女性部員対象に行なわれたアンケート調査結果にもとづいて、経営相

1年を振り返り次年度の活動をより良いものに。



三月四日、寿宴に於いて平成十三年度女性部役員・支部長研修会及び反省会が行なわれ、二十人の役員・支部長の参加のもと、一年の締めくくりとして行事を振り返りました。

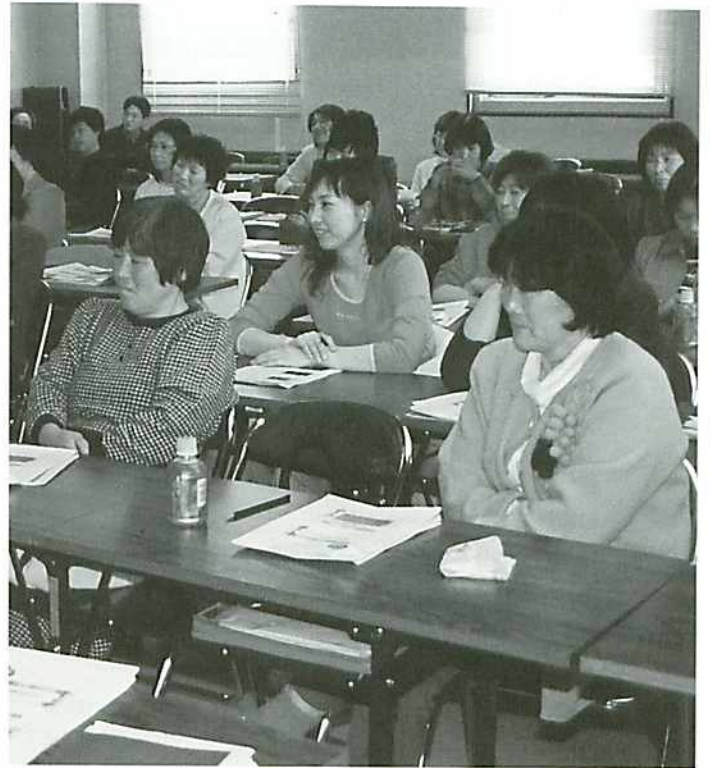
横田純子部長の挨拶の後、一年間の活動報告をしながら、日程の決め方、また支部内を含めた問題点など、次年度の活動をより活発なものにするために話し合いが行なわれました。

会議の後は、役員・支部長の特権となっている研修会で、今年は一ステーション数室を開きました。数年前に女性部活動の中で教室が開かれ、ハンカチに色づけしたこともありましたが、今回は専用ビニールシートを

使って、それぞれが好みの色づけを楽しみました。貼りつけできるそのシートは、きつと個々の窓や鏡、冷蔵庫などにアクセントとして飾られているのではないのでしょうか！

研修終了後は、会食をしながら更に支部長の利点・苦労話、支部役員不足（支部長をやりたくない為に女性部を退部する人が多い）についてなど話題は尽きず、お互いが次年度以降の女性部活動に期待する想いを感じながら、労をねぎらい合いました。

役員・支部長の皆さん一年間ご苦労様でした。



終始盛り上がった研修会



新役員の皆さん

談話から「花嫁・花婿対策」、「相談課の悩み相談室」、酪農課から「乳質改善と最近の酪農情勢」について話題提供され、いずれの話題も部員には現実に直面している切実な問題、また興味深い内容となり参加者は聞き入っておりました。

今回のように多くの部員が集まる時を利用して、女性部員が受け入れやすい話題を持つての研修会を、今後も長い目で度々開催して欲しいという声も聞かれ、総会を含め実に盛会に終了しました。

6. 夫婦仲良く仕事していると思いますか

まあまあ

たま～に思う

それなり、そこそこ、明日のことはわからない

山あり谷ありの繰り返し

外見は仲良く見えるけど、中味はいろいろあり、何ともいえない

仲良くとは言えないが、けんかをしても仕方ない

はい

仲良く仕事しています？

しているつもり

大変仲良いです

話し合いもするし仲の良い方だと思う

9割の日々はたいへん仲良く、残りの1割は最低限必要なことのみ伝えるだけの沈黙が…

いいえ

仲良くない

性格が合わないため仲が良いとは思えない

7. 今後どのような研修会をお望みですか

クミカンの見方

乳検データの見方

乳代伝票の見方

農協から送られてくる書類全ての見方

グリーンツーリズムについて

皆さんが考えて下さることならなんでも

今回のような研修を

充実した生活ができるには（仕事・趣味・食生活などで）

哺育勉強会

負債を少なくする営農

出来上がった草の管理（保存法）一年間良い状態にし続けるために

施設を新しくしていく農家もあるかと思うので参考施設を紹介してほしい

他の農協と比較してのJA中標津の組織構成・運営の実態



8. 営農における悩み（不満）、農協に対しての要望（不満）、家族内における悩み（不満）、などがあればこの際、是非お書き下さい

この質問に対して多くの悩み、要望、意見をいただきました。その中でも親子関係、夫婦関係の回答が特に多かったため、そのことについて、女性部総会後の研修会において、女性部横田部長、当幌・松田幸子さん、農協酪農課・長瀬係長より親子関係、夫婦関係についてのお話しをしていただきました。

今回のアンケートに、多くの方から回答をいただくことができました。このアンケート結果を参考に、今後、研修会の題材の検討や、営農指導に役立てたいと考えております。ご協力誠にありがとうございました。



営農意識調査&お悩みアンケート

今回、経営相談課で初めての試みとして、農協女性部の方を対象に営農意識調査&お悩みアンケートを実施しました。

今回の調査の主旨としまして、営農は基本的に家族労働・家族経営であり、女性の方の役割は大きく、経営内容・営農に大きな影響力があるものです。しかし、男性の方は農協に来て農協職員と話しをする機会が多いのですが、女性の方はあまり機会もなく、こういった意識を持って営農されているか、また、悩み（不満）などをお話することが少ないのが現状です。そこで簡単なアンケート調査により、女性の方の意識、また、悩み（不満）などを理解し、今後の営農指導に少しでも役立てたいと考えて実施しました。

アンケートの内容と集計結果(回答数48)

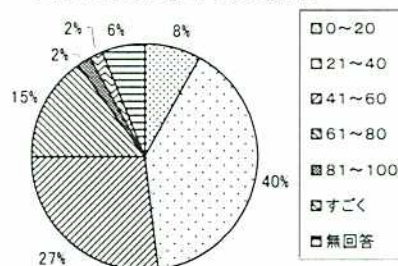
1. 営農における日常の仕事は何ですか（複数回答 作業内容÷48）

搾乳……83% 哺育……56% 育成管理……23%
 除糞など清掃……19% 給餌……13% 繁殖管理……6% その他……21%

2. 自分の営農における労働割合はどれくらいだと思っていますか

0~20%……8% 21~40%……40% 41~60%……27%
 61~80%……15% 81~100%……2% すごく……2%
 無回答……6%

自分の営農における労働割合



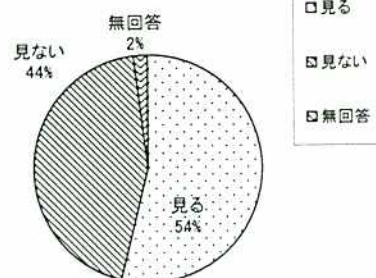
3. クミカン報告票は毎月見ていますか

見る……54% 見ない……44% 無回答……2%

見ないと答えた方（44%）の主な理由

見方がわからない なんとなく見ない 時々見る 興味ない
 見たくない

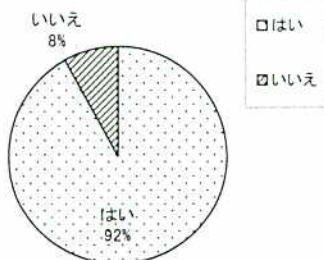
クミカン報告票の閲覧



経営収支への関心

4. 経営収支には関心を持っていますか

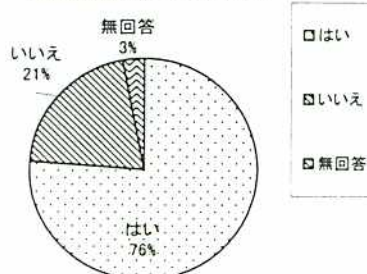
はい……92% いいえ……8%



5. 負債（借金）の総額がだいたいどれくらいか知っていますか

はい……76% いいえ……21% 無回答……3%

負債総額を知っているか



新年度に向けた 地区別懇談会を 終えて。

平成14年3月11日から13日
までの日程で、地区別懇談会
を実施し、皆さまの意見をお
聞きしました。



説明した議題は、一月末の農協事業概況、常勤三人体制に係る対応、平成十四年の営農計画、抗菌性物質の迅速検査法、交流体験施設建設に係る町有地との交換、ペイオフ解禁についてです。

一月末の事業概況では、補給金を含めた販売取扱高で、乳代が前年より一億八千八百万円、個体販売では九月まで高値が続き一億一千万円、農産物では大根が前年より七千八百万円の増となり、全体で二億五千四百万円増加の九十一億八千万円の実績となっています。

また、生産資材では、飼料一億八千万円、肥料八千四百万円、燃料八千六百万円などが堅調な伸びを示し、あるも前年より二千六百万円の増となり、購買品供給高全体では四億円増加し、六十四億円の実績となりましたが、収支状況を見ると昨年発生したBSEの肉牛センターに与える影響は大きく、一月末における収支見込みで、前年より一千六百万円減少の二千万円の剰余見込みとなっております。

農協改革二法の制度により執行体制について、常勤理事三人体制（使用人兼務理事二名体制、うち一人は信用事業専任）を整備する

ため、役員定数・役員選出方法を変更すべき定款の改正を、十四年度の総会で行なうこと
の方向性を説明いたしました。

その他に、生乳における抗生物質混入の有無について、被害を最小限に食い止めるため、公定法であるPD法と、実用的なチャーム法を併用した事故防止策を講じること、交流体験施設建設に係る土地については、中標津町との間で等価による交換ができる見込みであること、ペイオフ（貯金保護制度）が平成十四年四月から解禁になることの内容を説明し、対策としては健全な金融機関を選ぶことであり、そのためには金融機関の健全性を示す自己資本比率（国内基準四割以上）などによって、金融機関を選択するなどの説明を致しました。

意見の中ではBSEに関する意見が多く、肉牛センターが受けた影響、今後も続くことが予想される中、次年度に向けての肉牛センターの方向性を早めに示して欲しいとの意見がありました。

今回の懇談会での皆さまの意見についても、理事会に於いて慎重に協議し、新年度の対応に向けたと思います。誠にありがとうございました。

農村環境フォーラム

青年部武佐支部 林 直樹



パネラーの皆さん

延びた乳価、関連対策を思う。

組合長談話



中標津町農協組合長
高橋 勝義

新年度を迎え組合員皆様におかれましては、益々ご清栄のこととご推察申し上げます。

昨年来、多くの課題に取り組みながらも、予期せぬ出来事が発生し、身近で北海道に深く関わる話題に振り回され、右往左往した一年と思いを深くしているところであります。

さて、十四年度乳価(補給金単価)と関連対策についてであります。三月二十八日に決定をみたところであります。延び延びで先送りされた背景には、BSE発生による対策優先、年明けて二月には雪印食品による一連の不祥事が要因で、異例の状

況で推移し、組合員にとっても、BSEがらみでどの様な決定を見るのかと注視していたと思えますが、上京運動の中で現場と組織、農水省の認識にズレを感じながら精力的に訴え酪農畜産の危機と不安を一連の対策で勝ち取るべく運動展開し、十分とは言えませんが、一定の成果を得る事が出来たと思えます。具体的には要綱などが出てくるまで、細部について見えない部分がありますが、営農生産にむけて前向きに取り組んでいただけます様、お願い申し上げます。

農協事業も決算を終えまして、そ

れぞれ組合員にもBSEの影響で心配をかけましたが、各部門の成果もあり、計画以上の結果で締めることが出来ました。

これも偏に組合員、消費者、関係機関の絶大なるご支援とご指導のおかげと新たに感謝を申し上げます。

十四年度事業計画も作成中ですが、厳しい環境も予想され、緊張感を役員共有しながら新たな目標樹立にむけ、鋭意努力する所存ですので、今後共よろしくお願い申し上げます。一連の決定劇をふり返っての思いいたします。

女性酪農後継者の本音トーク。



講演する竹田津 実氏

例発表、第二部「女性の結婚観、今日の結婚事情、彼女達の酪農ビジョン」をテーマにパネルディスカッションが、それぞれ午前と午後に分けて行なわれました。

第一部では、講師に獣医師の竹田津実氏を迎え、人工林を数十年かけ自然林にして行く難しき、楽しきについてや、糞尿・農薬による河川の汚染に対する対策についての事例を交えながら、スライドを使って紹介しました。続いて事例発表に移り、

四人の方が発表し、内三人が当農協青年部員で、「開陽地区の環境整備」を中本信幸氏、「糞尿処理の合理化、自給肥料の合理化」を鷺見健氏、「ウソコってすごい？」を清原孝志氏がそれぞれ事例を発表しました。

第二部では、コーディネーターとして日本青年館結婚相談所の板本洋子氏を迎え、パネラーとして女性酪農後継者の四人の方が参加し、なかなか聞けない本音のトークで盛り上がりしました。

中標津町農村環境フォーラムが三月十六日、町総合文化会館で開催されました。

フォーラムは、第一部「環境を生産する農業」について基調講演と事

営農技術

早春の草地管理

北根室地区農業改良普及センター

一、草地のチェック

①冬枯れの状況
昨年早春には、一部の草地に凍害がみられました。程度によっては、追播などの処理が必要となります。

②石やゴミの除去

作業機械を痛めそうな石やゴミがあれば取り除きます。

③マメ科の状況

マメ科の割合によって早春の施肥量が決定されます。

二、機械の準備

早春の施肥作業に向けて作業機械の点検整備を始めましょう。適期の安全な作業のために、点検は重要なポイントです。

三、施肥管理

①施肥時期

施肥時期によって牧草の生育に及ぼす肥料効果が違います。チモシー草地に対する施肥時期を適切に行なうことで、収量をさらに向上させることができます。一番草収量は、五月上旬の萌芽期施肥が最も多く、六月上旬の伸長期施肥に比べて一・四倍もの収量が得られます。

また、一番草刈り取り後の施肥時期は、チモシーの新分げつが伸長を開始した五〜十日目頃が最も多収となります(図一)。

②施肥配分

チモシー草地では、一番草の収量割合が大きいことから、生育量に応じて一番草に多く施肥する方が効果的です。年一回刈りと三回刈りでは、施肥の配分が異なります(表一)。

③施用量(施肥基準)

牧草収量は、主に草種構成によって決まります。そのため、施肥管理は草種構成に対応して変える必要があります(表一)。

率が増えると酪酸が増加し、品質が低下していることがわかります。草地上の堆肥塊をパスチャーハローなどにより碎き散らし、混入量を低減させましょう。

四、牧草収穫時の堆肥混入防止
前年秋や早春に散布した堆肥などが牧草収穫時に混入すると、サイレージの品質が悪化し、嗜好性などが低下します。図一をみると堆肥の混入

図1 早春の最適な施肥時期

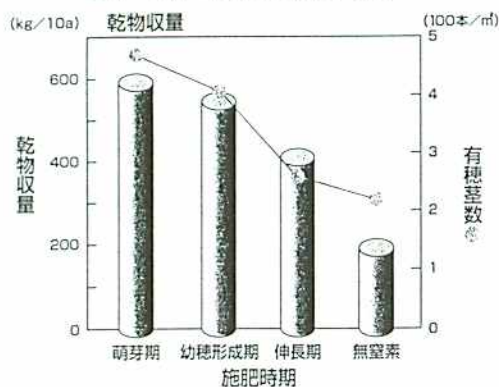


表1 チモシー草地(2回刈り)の施肥時期と施肥配分

施肥時期		施肥配分
早春 (5月上旬~中旬)	萌芽期	2/3
1番刈り後	新分げつ開始 5~10日頃	1/3

図2 堆肥混入とサイレージ発酵品質(堆肥混入無しを100として)

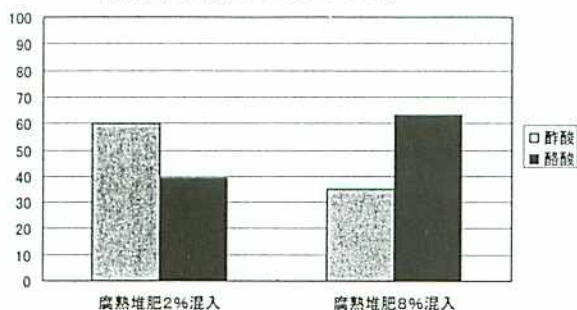


表2 チモシー主体採草地の植生タイプと施肥標準(kg/10a)

植生タイプ		N	P ₂ O ₅	K ₂ O
チモシー割合	マメ科割合			
50%以上	30%	4	10	22
50%以上	15~30%	6	10	22
50%以上	5~15%	10	8	22
70%以上	5%未満	16	8	22



「出会いからのステップを期待して」

スノーモビル&ダイナー交流会開催
スノーモビルの楽しさを満喫。

スノーモビルを趣味とする農業後継者と女性酪農実習生の、スノーモビル&ダイナー交流会が三月二十二日、開陽育成牧場及び佐藤拡宅コテージで開催されました。

スノーモビル交流会は、二月二十七日の武佐岳探険交流会に続いて二回目の開催。

当日は曇り空で風も強く開催を心配しましたが、参加した男性七人、女性六人共に元気で、約七百ヘクタールある町育成牧場の一部のコースを一時間ほどかけてドライブ。広い雪原、林道とスノーモビルの楽しさを満喫しました。

午後八時から、結婚対策協議会・佐藤相談員宅コテージでダイナー交流会を開催。女性実習生の豪華手作り料理が並ぶ中、日中開催したスノーモビルの話や、食べて飲んで、ひとときの出会いの場となりました。



◎相談員からの独り言

男性諸君へ〜今回の交流会に限らず、男性のマナーの悪さに問題あり。(今回の男性に限らず)決められた集合時間をどう思っているのか。突然の都合で参加出来なくなる、時間に遅れる事はあると思うが、電話一本なせかけられない。先に集まっているみんなは、ご馳走を前にお腹をすかせ待っているのだ。逆の立場で物言を考えてみよう。



冬枯れ対策など紹介 早春施肥前に草地巡回を

三月号では、根釧農試の湯藤部長を招き二月七日に行なった肥培研修会の内容を抜粋して掲載しました。今月号では、冬枯れ対策、強害雑草の防除方法などについて紹介致します。雪も解け緑の草地が顔を覗かせています。対策はこれからがスタートです。

草地の冬枯れとその対策

平成十一年から十三年の冬期間に見られた冬枯れは、土壤凍結後の降雨により牧草体が窪地に形成された氷盤に封じ込まれたことによる窒息死と、十二月以降の土壤凍結後にふん尿散布を行なったための物理的障害と推察されます。被害草地への対策は、五月上旬の早春施肥前に草地を一巡し牧草の冬枯れ・起生・萌芽状況を確認する。この時、草地の高い部分、低い部分、中間部の三方所程度を確認するのが望ましいです。冬枯れ被害率が五〇〜三〇程度で、被害が草地に点在している場合や被害株の一部から稲科牧草の萌芽が確認される場合は、早春施肥を行ない植生の回復を待ち、一番草収穫後に

再検討する。被害が上記以上にある場合は被害部分をロータリーハロで軽く表層攪拌し、鎮圧後に施肥、播種して再度鎮圧して仕上げる。草種や品種は既存の植生にあわせ、被害のない部分は通常施肥する。夏に更新予定の圃場が三〇〜四〇程度の被害を受けた場合は、通常の施肥をし、一番草収穫後に更新計画に沿って更新する。

また、長期的な冬枯れ対策として、耐寒性品種・草種の導入や牧草の越冬体制の確保、地力の向上、明渠・暗渠による排水性の改善を行なうことも望まれます。

草地の雑草対策について

① 深起こし、すきこみ
地下茎型イネ科雑草が多い草地に

において、三十センチ程度に深起こし、地下茎を埋没させる。また、通常の耕起・整地の後、雑草の発生を待つてロータリーハロをかけ雑草をすき込んだ後に播種する。

② 新播草地に対しての掃除刈り(掃除放牧)

掃除刈りは成長点が低い位置にある雑草には効果が低い。効果的なのはシロザ、タデ類、アオビユ、ナギナタコウジュなどである。一般的な掃除刈りの時期は、播種後四十〜六十日頃、雑草の草丈が二十〜三十センチくらいになった頃を見計らい成長点より下部分で刈り取る。放牧地においては、この時期に時間放牧し牧草と共に採食させる方法があります。

③ 麦類の同伴栽培

鈴当たり三十〜五十鈴のエン麦を牧草に混ぜて播種し、雑草の発生を抑制する。しかし、刈遅れは絶対に避けなければなりません。

除草剤散布による雑草対策

除草剤に頼らなければならない雑草種はノビエ、シバ類、ハコベ、ギシギシ類、地下茎イネ科雑草が多発した場合などです。

① 前植生処理

耕起前にギシギシ類、シバムギ、リードカナリグラスなどの茎葉と地下茎、根部を枯殺する目的で耕起

前植生処理に適した使用量(10aあたり) 表1

薬剤名	対象雑草	薬量		散水量	
		最小ml	最大ml	最小ℓ	最大ℓ
ラウンドアップ	地下茎イネ科雑草	250	500	25	100
	ギシギシ類	500	700	25	100
	フキ	800	1,000	25	100
ヒロバートル	ギシギシ類	750	1,000	100	120
タッチダウン	ギシギシ類・地下茎イネ	400	600	25	100
	フキ(5月上~下旬)	800	1,000	100	100
ポラリス	ギシギシ類・地下茎イネ	1,000	1,250	25	50
三共の草枯らし	ギシギシ類・シバムギ	500	700	50	50
ブロンコ	ギシギシ類・地下茎イネ	250	500	50	50
ラウンドアップ	ギシギシ類	500	700	25	50
ハイロード	地下茎イネ科雑草	250	500	25	50

の十日以上前に散布し、牧草も雑草も枯らせます(表一)。

② 播種時処理

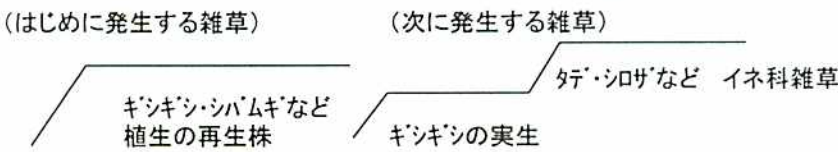
播種日、または直前に雑草を枯殺する方法で、播種床造成後に雑草が生え揃うのを待ち除草剤処理するもの。この処理法は除草剤散布時に発生している植物にしか効果がないので、タイミングが重要となるが、実生発芽個体と再生株処理に効果的です(表二、図一)。

③ 生育期処理

播種床造成後処理に適した使用量(10a当たり) 表2

薬剤名	対象雑草	薬量		散水量	
		最小ml	最大ml	最小ℓ	最大ℓ
ラウンドアップ	発生雑草	250	500	25	50
タッチダウン	発生雑草	200	400	25	50
ポラリス	発生雑草	500	1000	50	50
ブロンコ	発生雑草	250	500	50	50
ラウンドアップ・ハイロード	発生雑草	250	500	25	50
ラムロード	発生雑草	200	400	50	50

播種床造成後の雑草発生パターン 図1



ギシギシの退治に効く除草剤と使用法 表3

アージラン液剤使用(10a当たり)

時期	新播草地		経年草地	
	ml	ml	散水量 最小ℓ	散水量 最大ℓ
10月中～下旬	200～300	300～400	80	100

ハーモニー75DF水和剤(10a当たり)

夏～秋	3gに対し散水量100ℓ
-----	--------------

牧草の生育時期にギシギシ類を選択的に枯殺する。アージラン液剤を使う場合は、処理時期を十月上旬～中旬とします。葉が二～三枚展開している栄養成長期に行なうと、薬剤を葉から効果的に吸収します。薬量はギシギシ類の大きさに上限下限を使い分ける。駆除効果は翌春現れます。五月②処理する使用基準もあるが、チモシーが減収した例もあるので避けたい。また、夏の暑い条件で処理するとイネ

科牧草が枯死した例もある。ハーモニー水和剤を使用する場合は夏、秋に処理する。アージラン同様葉が二～三枚展開している状況が良い。シロ・アカクローバに対する葉害がひどいので注意が必要だが、夏処理でもチモシーへの生育抑制は少ない方法だが、スプレーは使用後、直ちに専用洗剤で洗浄することが必要です(表三)。

施工単価(ha当たり)

JA中標津組合員	10,000円(内税)
JA中標津員外	12,000円(外税)

アンケート時における希望施工時期

月	面積(ha)
5月	25.8
6月	0.0
7月	63.9
8月	78.4
9月	66.6
10月	83.0
11月	118.0
合計	435.7

※再度、申し込み取りまとめを行う。

基盤整備係で全戸対象にアンケートしたものに基づき検討した農協有スプレーヤの導入が三月二十九日の理事会で決定しました。スプレーヤについては二台を農協が取得し、二利用組合に作業を委託するものとします。施工単価について

では左記の通りとし、農協が取りまとめ及び精算の補助を致しますが、施工希望時期が集中する恐れがあるため、調整を要する可能性があります。今後、ファックスなどで取りまとめのご案内をいたしますので、早めにご作業の申し込みをいただけますよう、ご協力をお願い致します。

スプレーヤの導入について

平成十六年十一月に施行される家畜排せつ物管理法に向けて、いっそう草地改良事業に対しての予算付けが厳しくなっており、草地の維持管理並びに雑草処理対策を必要とする声が高まっております。スプレーヤ導入を決定いたしました。

わが家の 人気者

いよいよ春本番！この季節に打つつけの名前の持ち主である今回の人気者は、当幌地区・山田昇さん宅長女・春花ちゃんです。これまでの春花ちゃんは、病気一つせず、寝つきも寝起きもいいし、一人で遊ぶのも上手だし、当幌地区にたくさんいる同級生のお友達と遊んでもマイペースと、全然手がかからない子だったの！と、ママの美智

子さん。そんな春花ちゃんが、一歳のお誕生日を目前にした一月頃から、急に人見知りをするようにになってしまい、時にはパパにまでも寄りつかない時があったりと、最近になって初めて手を焼いたとか。春花ちゃんは今、音楽にとっても敏感で音の速さに合わせ、上下左右に体を動かし踊ってはご満悦顔。時には遠吠えのように！歌ったりもす



当幌地区 山田 昇・美智子さん夫妻 長女 ^{はるか}春花ちゃん(1歳1カ月)

春本番！ 季節にぴったりの女の子

パパとママはもちろんのこと、家族中の期待を一心に背負っている春花ちゃん。この季節のようにポカポカと暖かく、「春の花」が咲くような躍動感あふれる、そんな大人になる日をみーんな楽しみにしているよ！

春花ちゃんの将来について、パパとママに尋ねると声を揃えて「左うちわで暮らさせてくれ！（笑）」なんてパパとママ。それは冗談として、病気や事故なく大きくなって、手に職を持って自立した生き方ができる、そして、自分がなれなかった！（パパ談）笑）人の心の痛みがわかる、温かい人間になって欲しいと話してくれました。

春花ちゃんは今、音楽にとっても敏感で音の速さに合わせ、上下左右に体を動かし踊ってはご満悦顔。時には遠吠えのように！歌ったりもするんだって。それから、とにかく動物が大好きという春花ちゃんは、テレビに映る動物はかぶりついて観ることはもちろん、牛舎に住みついていいるネコちゃん達と遊んだり、毎日おばあちゃんと飼犬「テツ」の散歩に行ったり、牛舎の子牛を触ってはなめられることに快感を覚えているりと、動物に対しては全く恐怖感の知らない子となっているようです。



育苗管理に万全を期し、高収量・高糖分の収穫を。

平成十四年三月五日、マルエー温泉ホテルにおいて、中標津町農協てん菜生産振興会主催のてん菜栽培講習会が開催されました。

石橋会長の挨拶の後、ホクレン根釧原料所・田中所長から、てん菜栽培技術及びてん菜に係る情勢の講演があり、平成十三年の実績を見ながら、新年度の安定多収に向け、健全育成が大切と強調し、温度管理など十分に注意しながら育苗管理に万全をはらって欲しいと、高収量の高糖分を願った話となりました。

平成十四年度経営基盤強化特別対策事業のひとつとして、生産性向上・品質向上対策助成金が十割当り七百円、地域の平均収量・糖分以上の生産実績をあげた生産者面積に対して交付される事業が、新たに加えられた内容説明がありました。

引き続き、ビート育苗センター稼働日程などについて、事務局から説明が行なわれました。

講習会終了後、昼食をとりながら、会員同志の親睦を深め、豊穰の秋を願って終了しました。

てん菜栽培講習会



農薬など防除体系の取り組みを勉強。

平成十四年三月十二日、中標津町寿宴において、中標津町農協馬鈴しょ振興会で馬鈴しょ栽培講習会が開催されました。

亀代副会長の開会挨拶の後、講習会が始まり、最初に北根室地区農業改良普及センター高橋主査から、生食、加工馬鈴しょの茎葉処理について、今年度からレグロックス（農薬名）の使用を中止し、代わりの茎葉処理剤としてデシカン乳剤の使用法の指導を受けました。また、畑作土壌分析結果か

馬鈴しょ栽培講習会

ら土改資材の投入量について説明を受け、個別に対応していく事となりました。最後に、馬鈴しょの新しい品種の現地調査結果について

報告があり、新年度も再度試験を行ない、中標津で有望な品種を選定していきたいと、新年に向けた取り組みも行なっていく事にしました。

引き続き、日産化学工業・若山農業技術普及室長から軟腐病、疫病に対応した新剤の説明をパソコンを駆使してスクリーンに写し、

試験効果など海外での成果についても報告があり、今後の防除体系への取り組みの一助となりました。

最後に、サングリーン太陽菌・青木所長から、アブラ虫防除の新剤について説明があり、価格的にも割安となるなど、有望な農薬の紹介がありました。

講演の後、質疑応答に入り、時間をオーバーする程の活発な意見交換が行なわれ、有意義な講習会となりました。



良品質の馬鈴しょ生産を目指して。

J A 中標津種子馬鈴しょ生産部会 第2回定期総会

第二回種子馬鈴しょ生産部会定期総会が三月七日、農協中会議室で開催されました。

亀代部会長の開会挨拶で総会が始まり、南出参事からのことばとして、「中標津の種子馬鈴しょは、統一ブランドの共通意識で栽培し、良品質の種子馬鈴しょ生産を行なって欲しい」と挨拶がありました。

引き続き、議長に北中地区の大内勝利氏を選出し、議事に入りました。

平成十三年度の事業報告、収支決算報告は、全会一致で承認されました。

新年に向けて、栽培技術などで粉フキの鬼茎が長くなる傾向があり、丸くなる技術はないかなどの要望があり、普及センターと共に栽培試験を行なう事を説明し、今後の対策とする事としました。また、畑作組織の一本化に向けては、最初、馬鈴しょ（馬鈴しょ振興会、生食加工部会、種子部会）関係が一本化をし、畑対総会一本化に向けて進めていく事としました。



最後に、亀代部会長から「豊穰の秋を目指して、高品質な種子馬鈴しょ生産に取り組もう」と閉会の挨拶で総会を終了しました。

牧場で生産される牛乳の大切さを勉強。

第13回 中標津ジュニアホルスタインクラブ定期総会

三月二十六日、雪印乳業(株)中標津工場二階研修室にて、第十三回中標津ジュニアホルスタインクラブ定期総会が開催されました。

父母は定期総会、会員はスプリングスクールを並行開催しました。定期総会については、事業、収支決算並びに新年度計画が報告され、満場一致で可決されました。役員改選も行なわれ、新役員は次の通りです。

委員長・金子安一、副委員長・広瀬清寿、監事・佐藤裕子、野口史朗

今後とも更なるご理解、ご協力をお願い致します。

一方、スプリングスクールは、雪印乳業工場内を見学しました。会員の牧場で生産される牛乳、チーズになるまでの過程を目的

新入会員大募集！

中標津ジュニアホルスタインクラブでは、新入会員を募集しております。牛について学んだり、キャンプをしたり、収穫祭をしたり四季に応じた行事を行なっている楽しいクラブです。小学生～高校生までの方なら誰でも入会出来ますので、入会希望者、興味のある方は是非ご連絡下さい。

中標津ジュニアホルスタインクラブ事務局
J A 中標津・家畜改良課・鷲見 ☎2-3275

当たりなし、乳製品に対する知識や、牧場で生産される牛乳の重要性が理解出来たと思います。午後からはボウリングを行ない、会員間の交流を深めました。





楽しく交流を深めた 青年部親睦ボウリング大会

レクリエーション委員
高橋 春樹

三月十五日のボウリング大会は、参加者が多く、部員同士が楽しく会話しながらの交流が深められました。なかなか部員同士の交流が深められないなかで、今回のボウリング大会は大変意味のあるものだったと思います。委員会での会議で、午後ではなく午前中にやったことが、とても良かったと思います。

ボウリングの結果では、一位に鈴木達也さん、二位に部長である佐々木大輔さん、三位に清原孝志さん、四位に遠田勝さん、五位に私、高橋春樹という結果に終わりました。他にも中本信幸君、桜井寿治君、藤原智樹君、中川将君が景品をいただきました。

来年も部員の交流を深めるボウリング大会を、開催して欲しいと思います。余談ですが、開陽から参加した四人は、全員景品をいただきました(笑)。これも日頃の練習の成果かと...(汗)。

平成14年度

町営牧場夏期放牧希望牛の取りまとめ

左記のとおり開陽台牧場の入牧を予定しておりますので、希望される農家は中標津町役場農林課畜産係、または、町営牧場まで連絡願います。

* 受入れ牧場 中標津町営牧場

* 取りまとめ期日

平成14年4月26日(金)

詳しい案内については、中標津町役場農林課畜産係、または、開陽台牧場までご連絡願います。

農林課畜産係 電話3-31111

開陽台牧場 電話4-2268

JAバンク
春の
キャンペーン
懸賞つき

キャンペーン特別金利
0.1%

実施期間
4月1日 ▶ 5月31日

●ダブルチャンス

スーパー定期で商品券等
が当たる!

金賞 商品券20,000円相当×3本

銀賞 お米券3,000円相当×20本

銅賞 アイス
クリーム券1,000円相当×50本

対象商品	スーパー定期(1年もの、自動継続式)
抽選券交付基準	10万円を1口とし1枚進呈(個人限定) 10万円以上増額書替も対象
当選の無効基準	中途解約した場合
発表日	平成14年10月1日
発表	金融窓口、ある店に当選番号を掲示します。

●詳しいことは窓口、または電話でお気軽にお尋ねください。
JA中標津金融課 ☎2-2907

機構図と職員配置図



	男	女	合計
正 職 員	90名	22名	112名
準 職 員	6名	23名	29名
合 計	96名	45名	141名

太字=移動・昇格者

3月31日退職者 営農部経営相談課経営相談係 泉 綾
 生産部農産販売課農産施設係 準職員 松本 美千代

知恵袋

【家庭菜園】

その①

北根室地区農業改良普及センター

〔作付計画の一例〕
(平面概略図)

1年目

北

にら 永年作物	アスパラガス
ほうれんそう 弱い光でも生育	ねぎ
とうもろこし 背丈高い作物	豆類(いんげん)
だいこん かぶ 低い背丈、光を好む作物	さやえんどう
いちご 光を好む永年作物	



2年目

北

にら	アスパラガス
ねぎ	ほうれんそう
豆類(いんげん)	とうもろこし
だいこん かぶ	さやえんどう
いちご	



3年目

にら	アスパラガス
トマト、ナス	とうもろこし
だいこん、カブ	さやえんどう
ねぎ	ほうれんそう
いちご	

家庭菜園の作物の配置

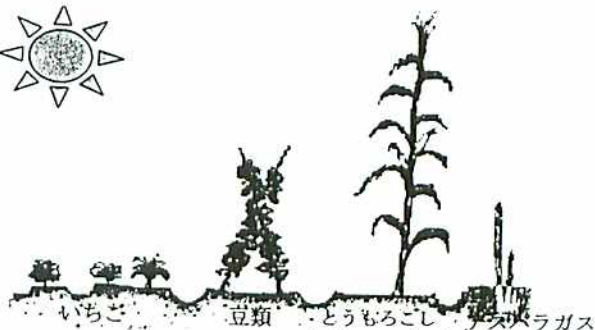
野菜は日当たりの良い場所を好む野菜、弱い光を好む野菜があります。草丈も作物によって様々です。

そこで家庭菜園を作る際には、日当たりなど考慮して作物ごとに、いくつかの畝やブロックに分けます。また、毎年同じ場所に同じ野菜や、同じ科の作物が連作にならないよう(共通病虫害、連作障害)に、植える場所を考えます(ハウス内も同様です)。

ユリ科	ねぎ、にら、アスパラガス、あさつき
ナス科	トマト、ピーマン、ばれいしょ
キク科	レタス、ごぼう、しゅんぎく、チコリ
アブラナ科	だいこん、キャベツ、カリフラワー
ウリ科	すいか、きゅうり、かぼちゃ

日当たりを好む作物	きゅうり、かぼちゃ、豆類、とうもろこし、だいこん、かぶ、にんじん、キャベツ
弱い光でも生育する作物	ねぎ、ほうれんそう、にら、いちご、アスパラガス、ばれいしょ

- ◎いちご、アスパラガス、にらなど一度植えると、数年収穫できる作物は端の方に植えるとよいでしょう。
- ◎光を好み草丈の低い作物は南側に、日当たりが悪くても耐える作物や背丈の高い作物は北側に植えます。
- ◎連作に耐える作物…ねぎ、かぼちゃ、にら



第十一回理事会の経過

開催日時 平成十四年三月二十九日

〈決議事項〉

一、平成十三年度収支決算見込みに
ついて

二、職員の期末手当について

三、役員定数審議会の答申について

四、役員報酬審議会の答申について

五、生活部棚卸システム一式のリース契約について

六、生活部配達車のリース契約更新
について

七、経営相談課・経営企画課車輛の
リース契約について

八、農業機械施設貸付事業規程の変
更並びに農協有スプレーヤー等貸
付事業要領の制定について

九、農協有スプレーヤーの導入につ
いて

十、根室ミートセンター備品購入に
係る負担について

十一、経営構造対策事業追加工事の
実施に係る利用者負担について

十二、平成十四年度各部の事業計画
骨子(案)について

十三、平成十四年度収支予算計画に
ついて

十四、国債窓販に係る信用事業方法
書の改正について

十五、各種資金の借入申込について

十六、組合員の加入について

十七、中標津町農協担い手創出協議
会の設立について

十八、中標津町農協新規就農者支援
事業実施要綱について

十九、確定拠出年金の取扱いについ
て

〈協議事項〉

一、地区別懇談会の意見について

二、定款の全部変更について

三、(定款附属書)役員選任規程の制
定について

四、規約の改正について

五、(定款附属書)役員選挙規程の廃
止について

六、農業生産法人の組合員加入と出
資金について

〈報告事項〉

一、平成十三年度農業所得税・消費
税の申告状況について

二、平成十三年度各種補助事業・指
定事業実施報告について

三、平成十三年度酪農ヘルパー実績
について

四、平成十三年度出資増口について

五、平成十四年度中斜里でん粉工場
創業計画について

六、生乳生産状況について

七、大根価格安定基金の造成状況に
ついて

八、BSEの感染源及び感染経路調
査の中間報告について

九、公庫資金の借換状況について

3月の組合日誌

- 1日 管理購買委員会
農業所得税申告作業
経営構造対策
- 5日 第10回理事会
係長以上企画会議
- 6日 構造対策打ち合わせ
- 7日 種子馬鈴しょ生産部会総会
事業打ち合わせ
- 8日 女性部三役会議決算監査
乳検組合AT法説明会
- 9日 農村環境フォーラム打ち合わせ
- 11日 女性部支部長会議
新旧合同役員会議役員選考会
地区別懇談会(第二俣落、西竹、
武佐、当幌)
- 12日 第12回青年部役員会
地区別懇談会(開陽、俣落、
中標津)
- 13日 地区別懇談会(依橋)
- 15日 馬鈴しょ貯蔵施設事業打ち合わ
せ
第4回酪農ヘルパー利用組合役
員会
第2回乳牛改良同志会役員会
- 18日 第6回熟年会役員会
肉牛センター棚卸し
- 19日 第1回青年部新三役会
- 20日 女性部第49回通常総会
共進会代表者会議
酪農課ローリー運転手講習会
- 23日 役員報酬審議会
- 25日 第9回営農委員会
- 26日 第4回管理購買委員会
営農協議
第1回青年部新旧役員会
- 27日 だいこん部会勉強会
- 28日 給油所准職員試験
- 29日 第11回理事会
中標津ETA講習会
- 30日 棚卸監査~31日

3カ月予報

向こう三カ月の天候

三カ月平均気温は、平年並か
高い可能性が大きく、その確率
共に四〇割です。

可能性の大きな天候の見通し

四月

天気は概ね周期的に変わりま
すが、低気圧の通過後は一時的
に冬型の気圧配置となる日があ
るでしょう。気温は平年並です
が、寒暖の変動が大きい見込み
です。

五月

高気圧と低気圧が交互に通過
し、天気は周期的に変わるでし
ょう。気温は高いですが変動が
大きい見込みです。

六月

天気は概ね周期的に変わりま
すが、天気のぐずつく時期があ
るでしょう。気温は平年並の見
込みです。

三カ月間降水量は平年並でし
ょう。

懐しき古き一枚の写真



今から45年くらい前の昭和31年頃、春まき、秋まきと2回種まきをして、年2回の刈取りが出来たなね。

一面の花で黄色くなる畑は、きれいなものでした。収穫時期になると機械は当然なく、頼れるのは人海戦術で、街の人に応援をたのんで、出向さんを雇ったもんでした。

写真提供 藤井 弘美氏